



データ活用社会に向けて - いかに使えるデータを作るか -

- 組織のデータの現状
 - ばらばらに管理
 - ばらばらのフォーマット
 - 相互のつながりの欠如
- なぜそうなのか
 - 組織文化
 - 部門主義
 - データに関する無関心
 - 硬直的なシステム
 - 中央集権型システム
 - 変化と多様性に対する非対応
- どうすればよいのか
 - データに関する意識の向上
 - *Data is an asset*
 - システムに対する新しいアプローチ
 - 変化と多様性に対応出来る仕組み
 - 分散性

データとは

データ自身の

量 (Volume)

変化の速度 (Velocity)

多様性 (Variety)

データ構造の

量 (Volume)

変化の速度 (Velocity)

多様性 (Variety)

データ活用社会に向けての方策

- データに関する意識の向上
 - 教育・研修 “*Data is an asset*”
 - データ・リテラシー
 - データの価値の理解
 - 活用に“よい”データとは
 - データマネージメントポリシー
 - ルーティーン化
 - リスク・マネージメント